

農業者をはじめ、関係機関・団体の皆様におかれましては、かねてから当地域の農業改良普及事業の推進に御理解・御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、農業を取り巻く情勢につきましては、農家戸数の減少や生産者の高齢化等による労働力不足、温暖化の影響や近年多発する気象災害による不安定な栽培環境に加え、生産資材価格の高止まりなど、厳しい状況が続いています。

このような中、県においては、本県農業の「稼ぐ力」を引き出すため、農業を支える多様な人材の育成・確保や農村の活性化などの「人づくり・地域づくりの強化」、ロボット技術、ICTなどの先端技術を活用したスマート農業の導入・普及や農産物の加工など6次産業化の取組による付加価値の向上などの「生産・加工体制の強化、付加価値の向上」、国内外市場のニーズに対応した農産物の販売対策と利用促進などの「販路拡大・輸出拡大」といった3つの項目を柱に、各般の施策を展開しています。

普及事業においても、これらの施策と連携しながら、地域農業・農村の課題解決に取り組んでいるところです。

新年度になり早3か月が経過しましたが、新体制の下、今年度も職員一丸となって始良地域農業・農村の振興に努めてまいりますので、更なる御理解・御協力をお願い申し上げます。

水稻新品種とサツマイモ基腐病対策について

高温登熟性に優れる水稻新品種「あきの舞」



近年、登熟期の高温が影響で、一等米比率が低下傾向にあります。そのため、鹿児島県は高温登熟性に優れる「あきの舞」を育成しました。

「あきの舞」品種特性



写真 玄米の外観

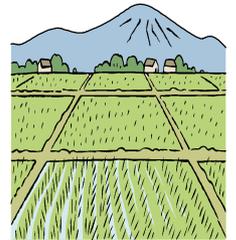
(△：移植期, ◎出穂期, ●成熟期)

品種	6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
ヒノヒカリ									◎						●
あきの舞									◎						●
あきほなみ												◎			●

作期分散イメージ



- 「ヒノヒカリ」に比べて約1割多収。
- 高温登熟性に優れ、玄米外観品質が良い。
- 「ヒノヒカリ」に比べ出穂期が2日、成熟期が6日遅い。
- いもち病抵抗性は「ヒノヒカリ」に比べて強い。
- 稈長、穂数、倒伏程度、食味は「ヒノヒカリ」と同程度。



令和7年から一般の農家でも栽培ができるようになります。
種子の購入については、最寄りのJAにお問い合わせください。

さつまいも育苗床の片付けを行いましょう！

サツマイモ基腐病対策は「健全なほ場」に「健全な苗を植える」ことが重要です。
次年度に健全な苗を生産できるように、速やかに育苗床の片付けを行いましょう。



- (1) 残ったツルや芋などの「残さ」は、ハウス外に持ち出しましょう！
- (2) 気温の高い時期に、複数回耕うんしましょう！
- (3) 苗床消毒を行いましょう！

気温の高い時期（11月末まで）に行うことで、高い効果を得られます。

苗床消毒のポイント

- ◎ 消毒効果を高めるため、地温、土壌水分を確保し、土壌混和後はビニールで全面被覆しましょう。

バスアミド微粒剤の使用基準

- ・使用量：30kg/10a
- ・使用方法：所定量を均一に散布して土壌と混和
- ・使用時期：植付21日前まで

※農薬登録内容はJPPNETにてR6.7.23確認



耕うんで
残さを
分解！



11月末
までに
育苗床消毒！

そのほか、種いも消毒やバイオ苗を活用し、健全種苗の確保に努めましょう！

IPMを活用した病虫害防除

1 IPMとは

総合的病虫害・雑草管理（Integrated Pest Management）の略称で、利用可能なすべての防除技術（耕種的防除、物理的防除、生物的防除、化学的防除）の経済性を考慮しつつ、総合的に講じることで、病虫害・雑草の発生を抑える技術です。



2 取組事例の紹介

(1) 生物的防除（天敵の利用）

- いちごでは、ハダニ（害虫）を捕食する「チリカブリダニ」と「ミヤコカブリダニ」という天敵を利用
- トマトでは、スリップス類やコナジラミ類の害虫を捕食する「タバコカスミカメムシ」という天敵を「バンカー植物」で増やして利用
- ナス、マメ類、オクラでは、アザミウマ類やアブラムシ類などの害虫を捕食する「ヒメハナカメムシ」や「クサカゲロウ」などの土着天敵が、ソルゴーなどの「天敵温存植物※」に集まってくることを利用

(2) 物理的防除（土壌還元消毒の例）

還元資材である米ぬか、ふすま、糖蜜等の有機物を土壌に混和した後に、たっぷり水をかけ、土壌表面をビニールで覆い空気を遮断しながら、高い地温を維持する消毒方法。

土壌中の微生物が資材をエサに活動が活発になり、土壌が還元状態（酸欠状態）になることや、太陽熱による高温等も作用することで、病虫害を死滅させます。

※ 天敵温存植物を有効に活用しよう

「天敵温存植物」とは、名前のおり天敵を温存（誘引性・定着性・増殖性を強化）するための植物です。

温存効果が期待できる草種を上手に利用するためには、いつ（時期）、何のために（対象害虫）、何を（天敵）強化するのかを、整理して知っておくことが重要です。

【天敵温存植物の活用例（露地：オクラ）】

天敵温存植物の活用例（露地：オクラ）

天敵温存植物	播種時期	対象害虫	天敵
ソルゴー	直播き：4～8月	アブラムシ	寄生蜂、テントウムシ、ヒラタアブ

天敵温存植物の植栽

選択的農薬の選定

天敵温存植物の植栽

天敵: ヒメハナカメムシ類, ショクガタマバエ, テントウムシ類, 寄生蜂類, ヒラタアブ類

害虫: アブラムシ類, チョウ目類

収入保険について 考えてみませんか。

収入保険は、全ての農産物を対象に、自然災害や価格低下だけでなく、自分たちの経営努力では避けられない様々なリスクによる収入減少を補償するものです。



加入できる方

青色申告を行っている農業者（個人・法人です）
 ※加入申請年1年分のみ青色申告実績があれば加入可能。
 （令和6年から青色申告を始めた方も、令和7年から加入できます）

保険期間

税の収入算定期間と同じです。
 個人:1～12月,法人:事業年度の1年間

補償内容

保険期間の収入（農産物の販売収入）が、基準収入の9割を下回った時に、下回った額の9割を上限に補填します。

詳しい内容は、鹿児島県農業共済組合中部支所(0995-59-3211)へお問い合わせください。

複式簿記入門講座開催のお知らせ

複式簿記とは？

簿記の記帳には単式（簡易）簿記と複式簿記があります。単式簿記では、経営管理に必要な財務内容を的確に把握出来ないため、振興局では複式簿記記帳を推奨しています。

単式簿記・・・収益、費用の発生を記帳（**損益計算書**）

複式簿記・・・収益、費用＋自身の資産の変化を記帳（**損益計算書＋貸借対照表**）

開催	複式簿記入門講座	パソコン簿記入門講座	パソコン簿記実践講座
日時	8月7日 午後1時半～2時間程度	8月28日 午前10時～正午	11月中旬～翌2月末
場所	始良・伊佐地域振興局	始良・伊佐地域振興局	始良・伊佐地域振興局 霧島市 溝辺総合支所 霧島市福山活性化センター
内容	<ul style="list-style-type: none"> 農業簿記の概要 仕訳の把握 貸借対照表と損益計算書 記帳～決算整理の流れ 決算整理について 	<ul style="list-style-type: none"> パソコン簿記の流れ 初期設定 日常の入力 決算時の入力 	<ul style="list-style-type: none"> 農業簿記ソフトソリマチを活用した実際の入力について

※ 研修のお知らせについては、各市町の担い手育成総合支援協議会便り等に掲載予定です。受講を希望される方は受講申込書にて事前に申込みをお願いします。（問合せ先：0995-63-8215（経営普及係））